

水戸支部だより

WEB版第7号
令和8年1月28日発行

ご挨拶 茨城県建設業協会水戸支部 支部長 田口 恵一郎



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはご健勝にて新春を迎えられたことと心からお喜び申し上げます。また、旧年中は当支部の活動に対しまして多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年は、「丙午」にあたる年です。情熱をもって行動し、冷静に判断することで、勢いのある年になるといわれています。力強く駆け抜ける馬の勢いにあやかり、現状に満足することなく、新たな挑戦と成長に向けた歩みを進める一年としたいと考えております。

さて、去年は、資材価格の高騰や人手不足、さらには各地で発生した自然災害など、建設業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続きました。しかし、そのような中であっても、地域の安全・安心を守るため、会員各位が日々の業務に真摯に取り組まれたことに深く敬意を表します。

本年も、社会資本の整備・維持管理を担う「地域の守り手」としての使命を胸に、災害時の迅速な対応、そして地域経済の活性化に一層力を注いでまいりますので、皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様にとって本年が健康と飛躍の一年となりますことを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和8年迎春賀詞交歓会を開催しました

令和8年1月15日(木)、新春賀詞交歓会が水戸市の水戸京成ホテルで開催されました。会員や来賓のほか、子どもを含む家族も参加。親子三世代にわたる多世代が集り、和やかな雰囲気の中で新年を祝うとともに、業界の結束と発展への思いを新たにしました。開会に先立ち田口支部長は、去年の災害対応などを振り返り「会員の迅速な行動により、地域の守り手としての責務を果たすことができた」と謝意を示し「厳しい社会情勢が続く中でも、会員の力を結集し、地域貢献と会員の利益につながる事業活動を進めていきたい」と強調。来賓祝辞では、県建設業協会の石津健光会長が「水戸支部は協会の中心的存在」と日頃の協力に感謝を表明。親子三世代での参加についても歓迎の意を示し「こうした取り組みが建設業界のイメージ向上につながっていく」と期待を寄せました。その後、建設関係団体や報道機関など多数の来賓が紹介されました。乾杯は県建設技術管理センターの小蘭江実専務理事が発声し、新年会は和やかな雰囲気の中で進行しました。余興ではマジックショーや抽選会が行われるなど盛り上がりを見せ、参加者らは親睦を深めるとともに、業界発展への思いを新たにしました。



第43回「愛の献血会」を実施しました



「第43回 愛の献血会」が令和7年9月2日(火)、水戸市青柳町の県建設技術研修センターで行われ、当支部会員企業の従業員など118人が献血に協力、貴重な血液を提供しました。研修センターには、赤十字社の献血車2台を動員。炎天下の中、支部員をはじめ多くの参加者が集まり400ml献血に協力しました。本活動について田口支部長は「赤十字社の協力を得て、毎年献血活動を実施している。献血へのご協力に心より感謝している。引き続き、輸血を必要としている方へ、安定した血液を供給していきたい」と話しました。

令和7年度「道の日」道路清掃活動を実施しました



令和7年10月7日(火)、「道の日」の美化活動を水戸市、旧内原町、笠間市、小美玉市、茨城町、城里町、大洗町の7市町で実施いたしました。県水戸土木事務所や市町の職員、当支部員の参加者合わせて約200人が沿道のゴミ拾いに汗を流しました。水戸土木事務所の成瀬真勝所長は「この活動を通じて道路への愛着や、美化意識が高まることを期待する」とあいさつ。田口支部長は「地域貢献はもちろんのこと、地元住民の安全と快適な環境を提供するため、安全に活動していただきたい」と呼びかけました。水戸市の中心市街地では、空き缶、ゴミなど8kgを2tダンプで回収。旧内原町は計20人が参加し、空き缶、ゴミなど30kgを集めました。笠間市は計23人が参加し、空き缶、ゴミなど10袋を回収。小美玉市では計16人が、ゴミ袋21袋を回収しました。茨城町では計25人が参加し、10袋分のゴミを回収。城里町では計26人が集まり、空き缶やゴミなど10袋を回収しました。大洗町では計29人が参加して、空き缶やゴミなど60kgを拾い集めました。参加者らは暑さが残る中、懸命にゴミを回収し、地域の美しい環境づくりに貢献しました。

Webexを活用したパトロール実施報告及び 災害協定に基づいた活動に関する合同勉強会



令和7年10月15日(水)、県水戸土木事務所と当支部は、Webexを活用したパトロール実施報告及び災害協定に基づいた活動に関する合同勉強会を開催しました。この勉強会は、地震発生時の活動において、現状では報告の方法が電話や電子メールなど協定先により分散していることや、現地での報告ができないなどの意見を受けて、Webexを活用するために開催しました。冒頭、県水戸土木事務所の成瀬所長は「緊急時のパトロール体制をしっかりと整えるためには、地域の実情に精通した皆さまの活躍が必要不可欠。県としても連携して防災・減災体制づくりを一緒にすすめていきたい」とあいさつ。田口支部長は「今回の勉強会では、パトロール報告の軽減と現状把握の効率化を図り、災害発生時に迅速かつ的確に行動できるように理解を深めてもらいたい」と期待を寄せました。勉強会では、県水戸土木事務所の大高晴寿道路管理課長が、地震発生時の対応として、事務所配備体制や連絡先、パトロール体制・手順、全体図などを解説。その後は、Webexをベースとした道路パトロールシステム「Di-RAK」の利用方法およびパトロール結果報告方法を説明。参加者はスマートフォン、タブレットを操作し、文章や写真の投稿方法などに理解を深めました。

令和7年度 優良現場見学会を開催しました



令和7年10月22日(水)、当支部建築委員会と水戸市建設業協同組合建築委員会の合同で、優良現場見学会を開催しました。32名が参加し、現在施工中の住宅棟(20階建て 12階躯体工事中)と駐車場棟を見学しました。

- 現場名：水戸駅前三の丸地区第一種市街地再開発事業
- 施工者：長谷工コーポレーション・株木建設共同企業体

<https://www.kensetsu310.com/>

